

平成9年度 結核・感染症サーベイランス事業関連等のウイルス検査結果

微生物課 ウイルス担当

当所では平成4年より福岡県結核感染症サーベイランス事業の福岡市内定点の検査を開始し、現在7定点で実施している。

9年度、当所に搬入された検体は検査定点医療機関の患者243名・296検体（結核・感染症サーベイランス事業）、および別に依頼しておいた検査定点以外の患者7名・10検体であった。ウイルスの分離と検出は細胞培養（RD-18S・BGM・Vero・HEp-2）、電子顕微鏡観察（EM）等を用いて行った。

その結果、患者250名の306検体から155株のウイルスが分離または検出された。検体数に対するウイルス分離率

は50.7%と昨年度の31.0%より増加した。

搬入された検体の臨床診断名については、昨年度に比べインフルエンザ様疾患や無菌性髄膜炎がかなり増え、その他はほぼ横ばいであった。また搬入された検体の52.9%はインフルエンザ様疾患であった。

表1に本年度当所に搬入された検体のウイルス検査結果を示した。ウイルスが分離・検出された検体の内訳は咽頭うがい液より72株、同様に咽頭ぬぐい液43株・ふん便14株・髄液20株・喀痰2株・陰部尿道頭管擦過物3株であった。

表1 平成9年度当所搬入検体のウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	分離検体名	分離ウイルス名（分離株数）	陰性数
感染性胃腸炎	2	2			2
手足口病	4	4			4
ヘルパンギーナ	8	8	咽頭ぬぐい液	コクサッキーA2型(4)・コクサッキーB3型(1)・単純ヘルペス1型(1)	2
インフルエンザ様疾患	155	162	咽頭うがい液	インフルエンザAH3型(37)・インフルエンザB型(11)・アデノ1型(2)・アデノ3型(12)・アデノ7型(3)・エコー30型(1)・コクサッキーA2型(2)・コクサッキーA3型(1)・単純ヘルペス1型(1)・同定不能(1)	
			咽頭ぬぐい液	インフルエンザAH1型(1)・インフルエンザAH3型(10)・インフルエンザB型(2)・アデノ1型(1)・アデノ3型(2)・アデノ5型(1)・アデノ7型(5)・エコー11型(3)・コクサッキーB1型(1)	68
			喀痰	インフルエンザB型(1)	
無菌性髄膜炎	30	53	ふん便	エコー9型(3)・コクサッキーA9型(1)・コクサッキーB1型(1)・コクサッキーB3型(1)・コクサッキーB5型(3)	
			髄液	エコー9型(3)・エコー11型(2)・エコー16型(1)・エコー30型(4)・コクサッキーB3型(3)・コクサッキーB5型(2)	
			咽頭ぬぐい液	コクサッキーA9型(1)・コクサッキーB3型(2)・コクサッキーB5型(1)	
			喀痰	コクサッキーB3型(1)	25
脳・脊髄炎	7	11	咽頭ぬぐい液	インフルエンザAH3型(2)	9
陰部ヘルペス	4	4	陰部尿道頭管擦過物	単純ヘルペス1型(2)・単純ヘルペス2型(1)	1
不明発疹症	3	4	ふん便	エコー9型(1)	3
その他	37	58	ふん便	アデノ11型(1)・エコー14型(1)・ポリオ2型(1)・ポリオ3型(1)	
			髄液	エコー11型(2)・エコー14型(1)・エコー30型(1)・ムンプス(1)	
			咽頭うがい液	コクサッキーB1型(1)	
			咽頭ぬぐい液	インフルエンザAH3型(1)・アデノ3型(1)・エコー14型(1)・コクサッキーB1型(1)・コクサッキーB3型(1)・ムンプス(1)	42
合 計	250	306			151

